

武蔵国分寺跡資料館だより

Musashi Kokubunji Temple Remains Museum Newsletter

編集・発行・印刷

武蔵国分寺跡資料館
Musashi Kokubunji Temple Remains Museum

[住所] 〒185-0023 東京都国分寺市西元町1-13-10
[電話] 042-323-4103 [FAX] 042-300-0091
[E-mail] museum@city.kokubunji.tokyo.jp
[HPアドレス] <http://www.city.kokubunji.tokyo.jp/shisetsu/1733/009819.html>

2012.1
第9号



都立殿ヶ谷戸庭園が国名勝に指定

紅葉亭から眺めた次郎弁天池



● はじまりは大正期の別荘

三菱合資会社の社員で、後に南満州鉄道副総裁や貴族院議員も歴任した江口定係氏（1865～1946）は大正2（1913）年から4年にかけて現在の殿ヶ谷戸庭園の地に別荘を設け、「随宜園」と命名しました。

庭の意匠は八芳園（港区白金台）や高橋是清邸（港区赤坂、現在は高橋是清翁記念公園）などの庭園も手がけた赤坂の庭師仙石荘太郎によるもので、国分寺崖線の段丘崖の地形やその下部の礫層から湧き出る湧水を利用した池のある庭が造られました。



次郎弁天池の湧水源（都名水 57 選）

豊富な湧水は、野川の水源のひとつです。水量は平均毎分 37L、水温は平均 15℃から 18℃といわれます。殿ヶ谷戸庭園内とその周辺からは旧石器・縄文時代の石器や土器が見つかっていて殿ヶ谷戸遺跡と呼ばれています。大昔に彼らもこの湧水を利用していたかもしれません。

● 昭和期の追加整備

昭和4（1929）年、三菱合資会社の経営者であった岩崎彦彌太（1895～1967）が、江口家から別荘を譲り受け、昭和9年に津田塾の設計によって和洋折衷の木造主屋（本館）が建て替えられ、数寄屋造りの茶室（紅葉亭）も新築されました。またこの時に主屋前面の芝生地と崖線下方の池とを結び、回遊式林泉庭園に修築しました。紅葉亭からの景色は、次郎弁天池の滝や湧水、手入れの行き届いた植栽と武蔵野の自然植生が折り合う当時の姿を今に伝えます。



本館（現管理事務所）

今に残る2枚の本館に関する設計図から、当初の本館は木造平屋一部2階建の洋室棟と和室棟の並ぶ総延床面積 166 坪（547.8 m²）の建物だったことがわかっています。昭和 36 年の大改修で床面積は約半分に、さらに昭和 51 年に一部が取り壊され現在の姿となりました。

● 都立公園の誕生、そして国名勝へ

昭和 37 年、庭園を「殿ヶ谷戸庭園」として都市公園にする計画が決定されましたが、昭和 40 年代の国分寺駅南口の開発の折りに商店街化の計画が浮上しました。これに対して武蔵野の面影を色濃く残す自然環境を保全しようという市民運動が高まり、昭和 49 年に東京都が公園用地として庭園を買収しました。現状のまま庭園が保存され、暫定開園を経て昭和 54 年に都立殿ヶ谷戸庭園として有料開園、平成 10 年には庭園の価値が評価され、東京都指定名勝に指定されました。

そして平成 23 年 9 月、「庭園は、主屋の南東面を中心として、段丘上に広く展開する芝生地の洋風庭園、アカマツ・モミジ及び竹林などの樹叢とクマザサに覆われた崖線の傾斜面、段丘上面の井戸からの導水及び崖線の下端付近からの湧水を集めて造成された次郎弁天池を中心とする和風庭園などから成り、豊かな自然環境を生かした優秀な風致^{ふうち}景観を伝える。同時代に作庭された類似の武蔵野の別荘庭園の中でも、当時の風致景観を最もよく残し、その芸術上の価値は高い。」という理由で別荘庭園としては多摩地域初の国名勝に指定されました。

(学芸員 増井有真)



庭園の風景

崖線上の洋風庭園は、起伏を持たせた芝や、マツ、カエデ、石を巧みに配置した開放的な空間です。武蔵野に自生する野草や昆虫、水や宿り木を求めて訪れる野鳥などが多く見られます。

利用案内

所在地／東京都国分寺市南町 2-16
 開園時間／9：00～17：00（入園は 16：30 まで）
 休園日／年末年始（12/29～1/1）
 入園料／一般及び中学生…150 円（20 名以上の団体…120 円）
 65 歳以上……………70 円（20 名以上の団体…50 円）
 （小学生以下及び都内の中学生は無料）
 問い合わせ先／殿ヶ谷戸庭園サービスセンター Tel.042-324-7991
 交通／JR 国分寺駅下車 南口より徒歩 2 分 ※駐車場なし

？ 「名勝」って何？

文化財保護法によって定義される記念物には、遺跡、名勝地、動物、植物、地質鉱物があります。名勝地には庭園、橋梁、峡谷、海浜、山岳、その他の名勝地があり、このうち文部科学大臣が重要なものとして指定した名勝地を「名勝」といいます。「名勝」のうち、特に価値の高さが認められたものは「特別名勝」に指定され、国宝（重要文化財のうち、特に文化的価値の高いもの）と同格のものとなります。文化財保護法では、文部科学大臣が指定

したものを単に「名勝」とし、官報でも「名勝」とのみ表記されますが、地方公共団体指定の名勝と区別するため、便宜的に「国指定名勝」と称されることもあります。例えば武蔵国分寺跡の場合は、「遺跡で歴史上または学術上価値が高いもの」として大正 11 年に「史跡」に指定され、さらに平成 22 年 8 月に東山道武蔵路跡が附で追加指定（第 4 号を参照）されたので、「史跡武蔵国分寺跡附東山道武蔵路跡」の表記が正式名称となります。

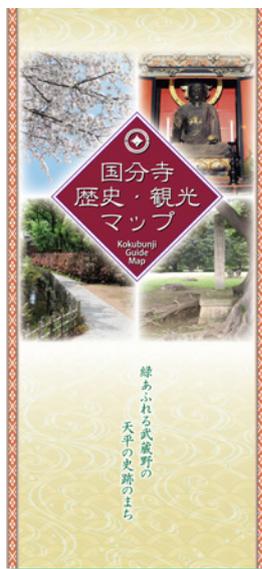
国分寺歴史・観光マップ

国分寺市教育委員会は国分寺市観光協会と共同で市内の文化財の紹介と散策マップを併せた国分寺歴史・観光マップを制作しました。地図面には市域全体図に加えて史跡周辺の詳細拡大図があるほか、国分寺市観光協会推奨品も紹介しています。文化財面では 5 つのおすすめ散策コース（所要歩行時間・距離表記）に合わせて、各文化財を多くの写真とともに解説しています。マップを手に入れて「天平の史跡のまち」国分寺市の遺跡や名所、文化財などを巡ってみてはいかがでしょうか。

マップは市内の主な公共施設で無料配布しています。

【主な配布場所】

武蔵国分寺跡資料館、ふるさと文化財課、文化財資料展示室、民俗資料室、史跡の駅おたカフェ、国分寺市役所（観光協会（経済課内）、案内窓口、情報オープナーほか）、国分寺市内の地域センター、公民館、国分寺駅、西国分寺駅、恋ヶ窪駅



地図面



文化財面

Temporary Exhibition

企画展示



武蔵国分寺跡と
江戸文化人の出会い

武蔵国分寺跡は、江戸時代中ごろになると、江戸の文人が訪れ紀行文や地誌類に取り上げられました。奈良時代の寺院跡である国分寺跡がどのように見られ、記述されたかを紹介します。また、多くの来訪者を惹きつけるために記した「国分寺縁起」や、歴史上著名な人たちの日記の記述を紹介します。

【開館時間】
9:00～17:00
(入館は16:45まで)
【期間】
2011年10月22日(土)
～2012年1月29日(日)
【会場】
武蔵国分寺跡資料館



Events

多摩郷土誌フェア



第24回多摩郷土誌フェアが開催されます。多摩地区28市町村の郷土・歴史・文化財に関する書籍を展示即売しています。

【開催期間】2012年1月20日(金)～22日(日)
【時間】10:00～19:00(日曜日は17:00まで)
【主催】東京都市社会教育課長会文化財部会
【協賛】オリオン書房
【会場】オリオン書房ノルテ店
多摩モノレール立川北駅前(パークアベニュー3階)

【参加市町村】
八王子市・立川市・武蔵野市・三鷹市・青梅市・府中市
昭島市・調布市・町田市・小金井市・小平市・日野市
東村山市・国分寺市・国立市・福生市・狛江市・東大和市
東久留米市・武蔵村山市・多摩市・羽村市・あきる野市
西東京市・瑞穂町・日の出町・奥多摩町・檜原村
【ご案内】
国立市ホームページ
<http://www.city.kunitachi.tokyo.jp/>
(国分寺市ホームページでもご案内しています)

バスで行く市外文化財めぐり



「下総国府・国分寺跡周辺の歴史と文化財を訪ねて」千葉県市川市内の史跡、寺社、文化財をバスと徒歩で巡ります。

【日時】2012年3月2日(金)
9:00～18:00(予定)
【集合場所】国分寺市役所
【集合時間】8:30

【参加市町村】
八王子市・立川市・武蔵野市・三鷹市・青梅市・府中市
昭島市・調布市・町田市・小金井市・小平市・日野市
東村山市・国分寺市・国立市・福生市・狛江市・東大和市
東久留米市・武蔵村山市・多摩市・羽村市・あきる野市
西東京市・瑞穂町・日の出町・奥多摩町・檜原村
【ご案内】
国立市ホームページ
<http://www.city.kunitachi.tokyo.jp/>
(国分寺市ホームページでもご案内しています)

NEWS

「ブラタモリ」に武蔵国分寺跡が登場!!

NHK総合で放送されているブラタモリに国分寺市が2週にわたって取り上げられます。1週目は史跡武蔵国分寺跡が中心で、武蔵国分寺跡資料館で展示している資料も登場します。2週目は国分寺市光町の名前の由来にもなった新幹線ひかりなどが開発された鉄道総合技術研究所が紹介されます。

【放送日時・内容】

1月19日(木)「国分寺～遺跡編～」(仮題)
1月26日(木)「鉄道総研～国分寺後篇～」(仮題)
いずれも22:00～22:48
※放送が急きょ変更となる場合があります。再放送も予定されていますが、詳しくはNHKの番組ホームページをご参照ください。

臨時休館のお知らせ

2012年1月31日(火)～2月3日(金)は展示資料入替のため臨時休館いたします。
2月4日(土)から通常開館になります。

文化財防火デーのお知らせ

毎年1月26日は文化財防火デーです。国分寺市では1月23日(月)午前10時から11時に国分寺薬師堂付近で東京消防庁による消防訓練が実施される予定です。
(見学は自由です)

来館者数

2009年10月18日～2011年12月末日

来館者数累計 37,520名

多くのご来館ありがとうございました

月	来館者数	開館日数
10	1,628	26
11	2,587 (958)	26 (3)
12	874	24
計	5,089	76

○来館者数は、おたかの道湧水園の入園者数
○来館者数()内は無料公開日の入園者数
○開館日数()内は無料公開日の日数

【10月～12月の学校見学】〔学年〕、〔人数〕、中＝中学生、高＝高校生、大＝大学生
<市内>第三小学校〔小3〕(133)、第二小学校〔小3〕(135)、第五小学校〔小3〕(90)
第二中学校(101)
<市外>自由学園男子部中等科〔中2〕(26)



金堂・講堂堂間(中間)地区の通路 (南から)

金堂と講堂の堂間(中間)地区で、瓦片や礫を敷き詰めた通路が見つかりました。通路の幅は、東側が後世に掘られて壊されているため明確ではありませんが、金堂の北階段(第6号を参照)と同じ幅の4.2mで、やや大きめの石で中央の道(幅1.4m)とその外側の道に区別されています。金堂・講堂間の移動や国分寺の仏教儀礼の際に、位の高い人が中央を、低い人が外側を歩いていたのかもしれない。

発掘現場見学会を開催しました
 推定鐘楼跡他の現場見学会を去る11月19日に行いました。当日は雨天でしたが、89名の方々に参加いただきました。ありがとうございました。

おたかの道湧水園 Photo ～野鳥編1～



カルガモ



ツミ



アオサギ

武蔵国分寺跡資料館ご利用案内



交通のご案内
 [電車] ●JR国分寺駅下車／徒歩約20分 ●JR西国分寺駅下車／徒歩約15分
 [バス] ●国分寺市循環バス「ぶんバス」日吉町ルート「泉町一丁目」下車／徒歩約8分
 ●国分寺駅南口より「京王バス」系統番号(寺83)・(寺85)乗車「泉町一丁目」下車／徒歩約8分

- 開館時間
午前9時～午後5時(入館は午後4時45分まで)
- 休館日
毎週月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)
年末年始(12月29日から1月3日まで)
※展示替えなどで臨時休館することがあります。
- 入園料
資料館に入館するには「おたかの道湧水園」への入園料が必要になります。(入園券は史跡の駅で販売)
一般……………100円(年間パスポート1000円)
中学生以下……………無料
[入園料の減免規則があります]
 (1) 学校の教育活動で生徒(中学生を除く)、学生及び引率の教職員が入園するとき[事前(7日前まで)に減免申請書の提出が必要です。]
 (2) 身体障害者及びその介護者が入園するとき
[発券窓口の史跡の駅で身体障害者手帳等の提示が必要です。]
 (3) その他教育長が特別の理由があると認めるとき
[事前(7日前まで)に減免申請書の提出が必要です。]
 ※減免申請書は、国分寺市のホームページからダウンロードできます。

見る 学ぶ 訪ねる
武蔵国分寺跡資料館
 Musashi Kokubunji Temple Remains Museum



モバイルホームページQRコード